

★定時上映 7月15日(土)～10月9日(月・祝)の土日祝

★星空解説「今夜、なにがみえるかな」2023夏

夏は天の川がよく見える季節です。天の川を渡るように輝く夏の
大三角。ベガ、アルタイル、デネブといった明るい三つの星を目印に、
夏に見られる星座の話をお伝えします。

★テーマ番組「星空を旅して 空を流れる大河～」

夜空を横切る雄大な星々の流れ「天の川」。天の川には多くの人々
が関心を寄せました。古の人が紡いだ七夕伝説。宮沢賢治の銀河
鉄道の夜。これら物語の背景になった天の川とは何なのでしょう
か？ 天の川、そしてその近くで輝く星々を紹介していきます。

脚本・演出：駒井仁南子 プログラマー：佐藤幹哉

☆土日祝の上映時間

テーマ番組 10:00～ / 13:00～ / 15:00～
星空解説 11:00～ / 14:00～ / 16:00～
テーマ番組、星空解説ともに約20分

・定員：各回先着50名（上映1時間前から発券）
・費用：高校生以上100円（中学生以下無料）

☆平日のみ団体上映を受付

（2日前までに要予約。ただし、休館日を除く）

☆夏休み期間上映

平日も1日2回上映
（団体予約は水曜を除く平日午前のみ）
7月21日（金）～8月31日（木）

※水曜定休

14:00～星空解説 / 15:00～テーマ番組

★星空たんけん観望会 ハイアマチュア望遠鏡&電視観望！

「夏の星空と夏の大三角」

“月、惑星なしで、夏の星空を堪能できます”

日時：8月19日(土) 19:00～20:30（受付開始18:45）

費用：100円（中学生以下無料）

持物：懐中電灯（赤色灯推奨）

定員：50名（小学生以下保護者同伴）

申込み：8月2日(水)～8月18日(金)までに
水の館 Tel.04-7184-0555



★手賀沼周辺のイベント情報

☆夏休みの環境学習！ ※申込期間中に、手賀沼課にTEL（04-7185-1484）

★プランクトンをつかまえて顕微鏡で観察しよう！

日時：7月27日(木)

午後0時30分～午後4時30分（受付0:15～）

8月4日(金)

午後0時30分～午後4時30分（受付0:15～）

場所：水の館3階研修室

対象：小学生（3年生以下保護者同伴） 各日先着申込20人

費用：50円（保険料）

持ち物：筆記用具、持ち帰り用の袋（ビニール袋）、帽子、タオル、
飲み物、デジタルカメラ又はスマートフォン（お持ちの方）

申込期間：7月18日(火)～7月25日(火)まで



★カヌー体験 in 手賀沼！

日時：8月20日(日)

①午前10時 ②午前11時 ③午前12時（各回45分程度）

場所：手賀沼親水広場（集合場所：水の館3階）（受付：各回20分前）

対象：各回1人乗り3名（小学4年生以上～中学生の方）

各回2人乗り3組（上記対象者2人での同乗又は上記対象者1人
+保護者での同乗）先着申込

費用：100円（保険料）

持ち物：水にぬれてもよい服、タオル、着替え、飲み物、帽子

申込期間：7月18日(火)～8月17日(木)まで

※雨天・荒天中止



★クリーン手賀沼推進協議会「遊覧船で手賀沼について学ぼう！」

日時：①8月8日(火) 9:30～ / ②8月22日(火) 9:30～ ※雨天・強風の場合は中止

定員：52人（要事前申込）

場所：ポートセンター小池前集合

対象：どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

費用：無料

申込：①8月2日(水)～8月7日(月)までに / ②8月2日(水)～8月21日(月)までに

※定員が変更となる可能性もございます。



南のリング星雲 ©NASA, ESA, CSA, STScI

ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡で撮影されました。

夏のミニ展示でも紹介します。

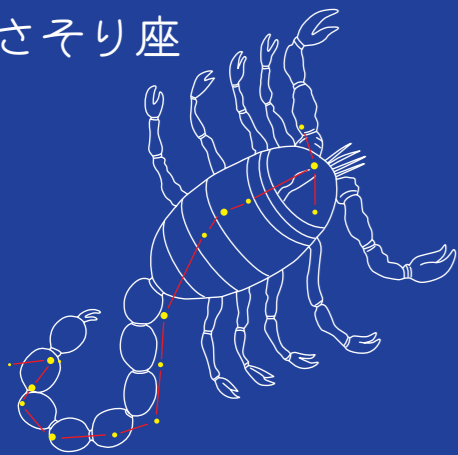


我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなぎちゃん

星座の物語 ～夏に見られる黄道12星座～

星占いで使われる12個の星座は黄道12星座と呼ばれています。黄道とは空で太陽の通る道のこと。黄道にある星座は特に重要であると考えられていました。季節ごとに見やすい星座は移ろいます。夏に見えやすい、3つの星座を紹介しましょう。

さそり座



いて座



やぎ座



オリオン座となった狩人、オリオンを倒したサソリとして有名です。南の低い空にその姿を見ることができます。大きくまがった星の並びは日本では魚釣り星とも言われていました。ギリシャの人々が描いたサソリの姿。日本の古の人が描いた釣針の形。どちらも、なるほど納得のいく星の並びです。

上半身が人間で、下半身が馬という不思議な姿をしています。正義感が強くとても賢いケンタウルス族のケイローンの姿で、彼は多くのギリシャ神話の英雄にその知識を授けました。その起源は古く遠くシュメール文明のころ(今から3000年以上前)までさかのぼることができます。

最も古くから伝わる星座のひとつです。暑さも和らぐ夏の終わりに見やすくなってきます。最も明るい星でも3等星。見つけやすい1等星のフォーマルハウトとアルタイルの間で見つけることができます。ギリシャ神話では川のほとりで宴会を楽しんでいた、やぎの姿をした牧畜の神、パーン。しかし宴会中に突然現れた怪物の登場に焦ったパーンは川に飛び込み、下半身だけ魚に化けてしまった姿と伝わります。

2023年夏の天文イベント

7月 金星が明るい

宵の明星、金星が非常に明るく輝いています。最も明るいのは7月上旬。日没後、西の空低くに見ることができます。

8月11日～14日 ペルセウス座流星群

8月11日から8月14日まで、普段より多くの流れ星を見ることができます。今年のペルセウス座流星群のピークは14日の明け方近く。夜空の暗く見えるところでは、1時間に30個ほど見られるかもしれません。流れ星は空全体に流れます。一点を凝視するより、ふわっと眺めるくらいの心持ちで観察すると良いでしょう。

8月22日 伝統的七夕

現在の暦の7月7日は、多くの場合、梅雨のさなかにあたりますが、旧暦の七夕の頃は夏空が広がり、星を楽しむのに良い季節です。国立天文台が旧暦の七夕の日を毎年公表しています。

9月21日 アンタレス食

さそり座の1等星アンタレスが上弦前の月に隠される「アンタレス食」が起こります。明るい星が月に隠されるのは神秘的で美しい現象です。今回のアンタレス食は月に隠される時は、まだ夕空も明るく観察は難しいかもしれません。一方、月から現れる瞬間ははっきり楽しめるでしょう。我孫子周辺では、隠れるのが17:26頃、出現が18:51頃となります。

星空ギャラリー

水の館プラネタリウムの入り口奥にある番組テーマに沿った展示スペースです

天の川近くに見られる星雲や星団や最新の宇宙望遠鏡であるジェームズ・ウェッブ望遠鏡が撮影した美しい天体写真の数々を紹介いたします。

展示構成：株式会社きら



星空紹介コーナーの星座は※マークが付いています。

天文ニュース 巨大彗星発見！2024年秋に期待

2023年初め、中国の紫金山天文台と南アフリカのアトラス天文台によって彗星が発見されました。発見者の名前をとって、紫金山・アトラス彗星と名付けられたこの彗星は、2024年10月頃になると0等級で見える可能性があります。日本で見られる大彗星となると、1997年に見られたヘール・ボップ彗星以来となります。彗星の明るさは予想が難しく、期待通りに明るくなることを祈りつつ楽しみに待ちましょう。

星空ミニクイズ

夜空に流れる淡い星の流れ、「天の川」。海外の人もこの流れに関心を寄せていました。どういった名前を付けて呼んでいるでしょう。

- ① スターロード
- ② ミルキーウェイ
- ③ ダイヤモンドダスト

答えは水の館3階、プラネタリウム前のスタンプコーナーで説明しています。

2023年度夏のスタンプ

スタンプはプラネタリウムの前にあるよ